



ロータリー：  
変化をもたらす

## 宇都宮ロータリークラブ会報

R1テーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 橋木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2017)平成29年10月31日 No. 3219回 2017～2018年度(第15回会報)

会員数105名 出席会員72名 出席率75.8% 前回修正率58% MU会員 渡邊肇会員  
(さいたま中央RC)

### ビジター紹介(親睦活動委員会 金子副委員長)

皆様、こんにちは。本日もご来訪の方をご紹介します。

本日の卓話をお願いしております共同組合宇都宮餃子会理事、そして組合長でいらっしゃいます、鈴木章弘様でございます。

### 会長挨拶(印出井敏英会長)



皆様、こんにちは。台風はどうでしたか？私は台風の中風邪を引きダウンをしております。私一人で診療時に行きまして中々今の風邪引きますと相当長いようですので、みなさん気をつけて下さい。それでは前回告知をしましたように、年次大会で色々アワードをいただいておりますので、今日ここで皆様にお渡ししたいと思いますので、名前を呼ばれました方はどうぞ前にいらして下さい。

まず、25年100%皆出席、矢治会員。おめでとうございます。

続きまして30年100%皆出席、前田会員。おめでとうございます。

続きまして今度は長寿会員ですね、80歳以上の方ですね。

まず、近藤会員。おめでとうございます、81歳だそうです。

続いて、助川会員。おめでとうございます。82歳だそうです。

続きまして、神宮会員。は、本日は欠席ですね。

矢島会員。84歳の長寿会員です。おめでとうございます。

篠崎会員。84歳です。おめでとうございます。

館野会員は、そうですね。はい。

鈴木会員。当クラブでは最年長だと思います。86歳です。おめでとうございます。

どうぞニコニコボックスも気持ちで構いませんのでよろしく願いいたします。以上です。

### 社会奉仕委員会明賀委員長



皆さん、こんにちは。社会奉仕委員の明賀です。

皆さんのお手元でございますのは、先日FAXでご案内しましたもの、いよいよ宇都宮気仙沼サンマ祭りが今週末土曜日に控えてございます。天気予報では過去四週間土曜日は連続雨だったんですが、今週の土曜日は晴れ時々曇りと今のところ雨の心

配はなく無事天気には恵まれて開催できる予報です。人数的にはインターアクターや法人会の皆さん、あとは野村証券さん、関電工さんのスタッフの皆さんにお手伝いいただき結構人数は揃ってはいるのですが、まだまだ皆さんのご協力が必要です。朝から晩までとは言いませんが、ちょっと顔を出していただいて、サンマとフカヒレスープを飲んでいただいて、あと、今回はビールの提供もサントリーモルティングさんと横倉本店さんのご協力で用意してございますので、そちらもご賞味いただければと思います。尚当日は、駐車場が栃木信金さんにご協力いただいておりますが、台数に限りがあることと、先程申しましたようにビールも販売しており皆さんお召し上がりになるとと思いますので、ご配慮いただいておりますので、車以外の形でお越しいただければと思います。時間は9時に現地、釜川沿い中央小学校の北側野スペースになりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

### 青少年奉仕委員会熊本委員長



皆さん、こんにちは。青少年奉仕委員会です。

青少年奉仕委員会では11月3日から5日までの3日間、ライラアップ委員会の方で研修会がござります。宇都宮ロータリクラブから4名のライラを出ささせていただきたいと思っております。今回はダイワハウスの三浦会員から2名、荒井会員から1名、それからカローラ栃木北関東から1名ということで、4名の社会人をライラに出させていただきます。3日間頑張ってきていただきたいと思います。それから11月4日は社会奉仕委員会でサンマ祭りということで、インターアクターが約25名参加する予定でございます。皆さんのバックアップをお願いしたいと思いますし、今回インターアクトの方で動画の作成をさせていただきたいと思っております。NTT東日本の村田さん、docomoの小林さんのご協力で動画を作ることとなっております。ロータリーの皆様にもぜひともご協力をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。以上です。

### ロータリー財団委員会阿部委員長

皆さん、こんにちは。ロータリー財団委員会の阿部でございます。

先日はクラブフォーラムにて皆さんから貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

来月からロータリー財団の月間ということで、今日はテーブルの上に用紙を用意いたしましたので、そちらを見ていただいて、中々ロータリー財団の寄付をいただくにはどのようにすればいいかというご説明をしていなかったもので、こういった紙を用意させていただきました。

今年の年度目標は150ドル、真ん中に参考資料で書かせていただきましたが、150ドルを円換算でいけば17,000円、会費として皆さんからは10,000円をお預かりしておりますのであとはミリオンダラー、ひとり800円×3で2,400円を出させていただいておりますが、そうすると不足額としてひとりあたり4,800円が不足してしまっていて目標に達成していないということでした。会計幹事の方からも今年は絶対に達成するよということなので、強いお言葉をいただいておりますので、皆さんにも来週からテーブルに受付をご用意いたしますので、委員会メンバーでお待

ちしております。ぜひ第3例会では地区の皆さんも来てご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。そして今日からでも、という方がいらっしゃいましたら私がお預かりさせていただき領収書を発行いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。ありがとうございました。

### ニコニコボックス委員会田中委員

皆さん、こんにちは。ニコニコのボックス委員の田中でございます。  
ニコニコボックスよりご奉仕案内。

### 例会プログラム紹介

#### プログラム委員松本委員長

皆様、こんにちは。本日の卓話は協同組合宇都宮餃子会理事兼事務局長の鈴木章弘様をお招きして招待者卓話を致します。

鈴木様のプロフィールを簡単にご紹介いたします。

ご出身は東京都で3歳でご両親の故郷、宇都宮へ移住されています。

宇都宮市内の高校、デザイン専門学校をご卒業、様々な職業をご経験の後、広告業界へ入られました。2006年から外部スタッフとして宇都宮餃子会に関わり、2009年企画会社を企業。宇都宮餃子会と専属契約を結び、外部より運営に関わっておられました。2011年宇都宮餃子会へ正式加入。2013年事務局長就任。2015年には理事に就任されています。

本日の演題は『オール宇都宮地方創生ムービー「キスできる餃子」施策に至るまで』ということでお話をいただきます。それでは鈴木様、お願いいたします。

### 宇都宮餃子会理事兼事務局長鈴木章弘様



皆さん、こんにちは。

大変人生の先輩方のいらっしゃるこの高い位置からお話をさせていただくのは、なぜ私なのかと疑問に思ってしまうけれども、しばらくお耳を拝借いたしながらお話をさせていただければと思います。

演題として先程ご紹介いただきました、『オール宇都宮地方創生ムービー「キスできる餃子」制作に至るまで』という話をさせていただければと思います。

次のページへお進みください。

こちらが宇都宮みんなの倒壊してしまった店舗なんです、私としては震災後の観光誘客というものを一番大きく掲げて活動してまいりました。東日本大震災以降激減してしまった観光客を取り戻すべく宇都宮餃子会一同、そして宇都宮市、そしてさらに商工会議所、観光コンベンション協会などなど、あとは地元のメディアも含めて共に観光誘客に向けて様々な活動をしてまいりました。先程お話しました通り、こちらは宇都宮みんな高根沢店の様子ですが、それ以外にも倒壊してしまった店舗、それから計画停電によって営業出来ない店舗、海がないというところから非常に地味な被害というふうに見られてしまいましたが、皆さんを含めて大変な被害にあったというのは記憶に新しいとことだと思っております。そのような活動をしてまいりました。

次のページへお願いいたします。

これによって私達はいかにして観光をどう取り戻すかとなりました。ちょっと話が脱線しますが、餃子の由来ということで諸説色々ありますけれども、満州からの引揚者によって広まったという説がございます。当時貧しい時代に、餃子の作り方、製法を持ち込んだ方々が貧しい時代を餃子を作りながら乗り切って行こうというような気持ちもあったと伝えられています。そして、宇都宮餃子会の発足の理由になりましたひとつ、宇都宮市観光商工課におられました沼尾博行さんが着目をしたというところですが、一番の原因は大谷の陥没でした。平成元年に大谷地区が陥没しまして観光客が激減しましてそれをどうやって取り戻すか考えた所たまたまその沼尾さんが目につけたのが餃子で、この餃子で町おこしを出来ないかと思いついたのがこの発足でございます。私達が思ったのが、この貧しい時代に、苦しい時代に餃子があつてそれで乗り越えてきたのではないかと、後付論も含めてなんですけど何か温度感を高めることは出来ないかということから観光誘客に乗り出しまして、宇都宮餃子祭りと言うものを私も毎年11月に開催いたしまして毎年十数万人に来ていただいているのですが、これを初めて県外、首都圏に持っていくことによって宇都宮であり栃木県がどれだけ元気なところであるかということ伝える活動が必要なのではないかということが、平成26年の9月から過去4回に渡ってですが下野新聞社と汐留にあります電通と一緒にやってきたという現状でございます。なぜ下野新聞社かと言いますと、それこそ先程お話した震災をどう乗り越えていくかといった中で餃子を用いて活動しようということに一番最初に手を挙げて活動いただいたのが下野新聞社だったんですね。その当時も含めて首都圏に打って出ようということをやっていたものですから、下野新聞社が電通を口説き落とし、この事業を始めてくれたという状況がございます。次のページをご覧ください。

実はこの映画につながるのは先程の横浜での開催、宇都宮餃子祭り横浜での開催というところだったんですが、実は第4回目の開催の時に、この秦建日子さんという方を電通がご紹介をしてくれまして、彼はもともと小説家でいらっしゃるつかこうへいさんのお弟子さんでいらっしゃいます。彼はもともとは篠原涼子さんのアンフェアというシリーズの原作者でいらっしゃいまして、東京生まれ東京育ちでということから地方を元気にしていきたい、田舎がないので田舎というところと結びつきを持ちたいなという個人的な思想も含めて、映画で何かできないかということを探していた状況でございました。その時に電通サイドとしましても宇都宮に非常に面白いコンテンツがあるということでこの会場に彼を連れてきてくれまして、すぐ翌週には宇都宮にもお越しいただいて様々な餃子を召し上がっていただき当然ながら大谷資料館にご案内したり様々なところにご案内したところ、人と物とこの景色空気全て宇都宮が非常に素晴らしいと感銘を受けまして、『鈴木さん、映画やりましょうよ』という話をいただきました。ただ、映画を作るというのは私達も経験がありませんので本当に絵空事でしかないのかなと思ったのですが、彼がすぐに原作になるような本を起こしまして本を作って私の方にも送ってくれました。これが映画を作ることの始まりでした。次のページをお願いします。

なぜこの地方創生ムービーかと言う話ですが、映画制作という活動を通して関連事業を含めて地方に発信するということに対して新しい地域活性化のモデルになるのではないかとということが実は背景にございます。地域の熱い思いというものがもろもろあると思いますが一番にはまず、ドラマなどそういったものと予算が大きくかかり

ますが、映画という取り組みですとそれぞれの出演者に対する1回の支払いに対してプロモーションが様々に出来るということから、その映画製作を通じて全国に発信、全国上映ということが可能なのであれば全国発信もできるであろう。そして、マスメディアへの告知、ネットでの拡散も非常に大きい、これはもうインターネットは広告の王様・神様であるということから私達は今までの活動の集大成とまではいきませんが、この観光誘客を盛り上げる大きな材料になるのではないかとということでした。

次のページをお願いいたします。

これは参考資料ですが、電通がなぜこの地方創生ムービーに取り組んでいるかというプロジェクトの絵面になります。真ん中に東京電通とありますが、現在東京電通が今回のモデルケースをもとに各市町村の新聞社と結びつきを作り、地方のモデルケースとなるものを打ち出しながら映画や皆さんに触れていただくエンターテイメントに落とし込んでいって新しいビジネスモデルを作っていこうというものがあります。日本国内だけでなく世界への発信も各国の映画祭に出すこともできるであろうということから、広く今までとは違ったにビジネスであると考えているのが現状でございます。

次をお願いします。

私達としては電通の思いなんてどうでもいいんですね。実は私の狙いとはここでした。栃木ディスティネーションキャンペーンの開催と、19年ぶりということによって皆さんご存知かと思いますが、JRグループの大型観光キャンペーンであるこのDCが栃木県が19年ぶりに対象になるということがありましたので、このプレDCを迎える前の段階で話が始まりましたので、私達としてはこのDCを盛り上げるべく餃子をきっかけ、いわゆる釣り針として行きながらフックとしていきながら、どうやって宇都宮を伝えていって栃木県観光を広めていくかということにこの材料が使えないかなということによって宇都宮市長、佐藤市長をはじめ、商工会そして観光コンベンションに相談したところ、ぜひやりましょうという熱いご返事をいただきましたので、これを形にするということによって動き出したのが私達としての狙い所でした。

次をお願いします。

具体的にどのような映画だったのかという、映画の宣伝のような話になってしまうのですが、作品名は『キスできる餃子』ということです。監督脚本家については先程お話した秦建日子さん。キャストについては若い方々なので中々知名度は難しい所ではあるのですが、CMも現在8本ほど出演して、NHKにも出ていらっしゃる足立梨花さんという方を主演に置くことができました。やはり全国に売るためにはある程度の知名度がなきゃいけないということでホリプロの女優陣でいくと、ナンバー4にあたる、順位をつけるのは失礼なのですが、ナンバー4にあたる知名度のある方ということです。劇場公開についてもDCを狙っていますので2018年4月から6月までの間の中での公開ということではなんとかねじ込んで行けたらと今進めています。狙うとこ全国50館から100館です。出資者についてはご覧の通りです。当然ながら下野新聞社、私達も入るのですが、地元というところで各メディアさんにも入っていただいている現状でございます。協賛者もそれぞれ入ってございますが1番には餃子をテーマにはしているのですが実は餃子は踏み台でございます。餃子を踏み台にしていかにジャズ、カクテル、大谷、プロスポーツをこのストーリーの中にねじ込んでいくということが狙いでもございました。ストーリーを作る中では先程の秦監督に都度都度私達の仮の原稿、監督に対して非常に失礼なやり方だと思うのですが、素人考えでの仮の原稿



を作って盛り込んでこの様な方向性です、人とのつながりってこんな感じのものなの  
ですというのを伝えていきながら脚本を起こしていただいたという現状でございました。

次お願いいたします。

地元でどう活動してきたかというところでは、撮影自体は8月の中旬から9月の中旬  
の約3週間程での撮影という弾丸の取り組みでしたけれども地元ではこの様な組み  
みをしておりまして、コレがキービジュアルになりますけれどもクランクインする  
ということでHPの立ち上げを行いまして、次のお願いいたします。8月15日大変お忙  
しいところこの場所に起こしていただいた方々皆さん一緒にいらっしゃったんですがク  
ランクインということ記念したパーティーをこちら東武グランデさんで開催いたし  
て招待者マスコミ含め300名近い地元の方々に起こしていただいてこれから宇都宮を盛  
り上げていこうじゃないかということで非常に温かい声をいただきましたし、実は監  
督始め主演の方々もこんなに地元、地方で撮影をする中でこのように多くの方々がお  
越しいたいて皆さんで頑張ろうとしていただいた会はなかったということで、足立  
梨花さんも含めて皆さん非常に感動していらっしゃいました。

はい、次のページへお願いいたします。

それから私達は地元で関わって行くためにということがありまして、商工会議所の天  
地人に単独のインタビューを取らせていただいて、いかにしてこの宇都宮でこの餃子  
を通じて観光を盛り上げていくべきかというメッセージを発信するために関口快太郎  
会頭にもご登場いただいて対談ということプラスしていただきました。

次お願いいたします。

地元の盛り上げとして下野新聞社もこういう活動をしていまして、実は先程下野新聞  
社と話をしましたが、来年の下野新聞社は140周年なのでですね。140周年事業とい  
うところにもなんとか私達もつなげていきたいという風に下野新聞社側も言ってくれた  
ものですからこの取組もあったということから、当然ながら新聞では毎日のようにこ  
の様な話題作りをしていただいたという状況でございます。こちらも同じように当然  
大谷資料館も撮影で使いまして、実は余談ですが大谷資料館は毎日のように取材が入  
っているところから、ほとんどロケがいれづらい、海外からもハリウッドの撮影がき  
ているので中々難しいなどと言われたのですが、どうしても宇都宮市としても我々  
としても大谷を入れたかったというところで大谷資料館を使わせていただいて、その時  
に市長がわざわざ表敬訪問ということでお越しいたきてまして、プリン差し入れを  
いただいたということも実はございました。それからこちら同じく下野新聞社のブ  
ランデッド版での紹介ですね。いわゆる配給会社というところがポスターを作ったり  
するのですが、公開先が中々決まっていけないと公開用のポスターを作れませんので  
地元の盛り上げ為に、ちょっとバカふざけ、悪ふざけのような唇を餃子にしたような  
ビジュアル本も作っていますが、こういう活動でとにかく持ち込まれたものではなく  
地元の方々に盛り上げる、俺らの町の映画だよということを理解していただく組み  
みをして参りました。こちらがエキストラ募集です。募集開始時点から8月18日時  
点まででしたが総勢2,114名、県民の方が1,954名ということで制作に関わりました  
ホリプロも相当驚いておりました。短い期間でこれだけ地元の方々からの申込がある  
ということに驚いていたというところでは、ただ当日、撮影期間に関してはご記憶も  
新しいと思うのですが、ゲリラ豪雨も含めて相当天候が崩れまして、この登録者が行

ったんですが中々撮影が決まると起こしいただく数が見込むことが難しかったという状況もありましたが無事に撮影が終了したというところでございます。今こういうご時世ですので SNS が非常に大切だということから、地元の栃ナビを運営しておりますヤマゼンコミュニケーションズ、こちらが電通配下に入ってコントロールをしながら、このツイッターや Facebook、インスタグラムといったところで毎日発信をして今現在も毎日発信をし続けているという状況です。これに関しても本来ですと事務所側も撮影に肖像権等が発生するので中々難しいと言われてしまうというケースもあるんですが、今回実はたまたまなのですが、この映画のプロデューサーになりましたホリプロのマキプロデューサーという方が今私の目の前でパソコンを操作していただいている関口さんの同級生で、宇都宮出身の方でいらっしゃったのです。この宇都宮出身ということから非常に熱い思いを持って取り組んでくれましたので、この件に関しましてもクリアさせていただいて SNS でも随分発信させていただいたというところでございます。

私達としては映画のプロモーションということではなく、いかにして宇都宮を全国に発信していくかというのがテーマです。もともと先程お話したように餃子の成り立ちについても私達が独自に自力で立ち上げてきただけではなく、市の方々が当然ながら立ち上げ、市民の方々に召し上がっていただき愛していただき今があるというわけです。私達としてはいかに震災で落ち込んできた観光客を餃子をきっかけに取り戻すかというつもりでいます。更にはここに 19 年ぶりに JR の DC、ディスティネーションキャンペーンということがございますので、これを餃子を踏み台にしていかにつなげていくかというところがございます。具体的にはこの映画の取材地、聖地巡礼、ロケ地巡りマップを作るとか、様々な映画と結びつけるというイメージを作る、映画の中のデートをするシーンではブレックスの試合会場に足を運ぶというシーンも無理やり作っています。それから、シーンのどこかにはブリッツェンの選手なども登場している。そんな状況も作っています。とにかく見た方が宇都宮が舞台になっていて、宇都宮って面白いところだなって思っていたくために私は餃子を活用したい、餃子会のうちの店主達もこれを実は理解しています。最初何を言っているのだと言われましたけれども、現在では餃子を利用してお越しいただく方を増やすことによって、商店街を含めて町に介入いただく方々が増えて、そしてその方々がまた泊まりに来たいと思っただくサイクルが増えれば増えるほど、餃子を召し上がっていただく率も増えると理解していますので、私達は飲食事業というよりは観光事業として観光の核としていかにして宇都宮を秀でた存在とさせていくかというところがテーマかなと思っています。

最後になりますけれど、今週末宇都宮餃子祭り 2017 が、今年で 19 回目の開催となるのですが、この会場で初めての発表となると配給会社から言われており、映画の公開が具体的に決まりました来年度の 6 月に公開が決定いたしました。これが中旬、2 週目なのか 3 週目なのかというところは今調整段階ではあるのですが、公開が決まった理由は東京の新宿ピカデリー、こちらが 6 月に館を空けても良いという話をさせていただきました。さらには、本日増田さんがいらっしゃいますけれども、福田屋さんのところにあります MOVIX 宇都宮さんでの公開も決まりました、MOVIX については宇都宮、東京そして、男性の主演の田村くんの出身地の名古屋での公開も決まりました。これを核に、新宿ピカデリーはいう相当大的いネーミングなので、これを核に配給会

社としては売り込みにかけて、全国の館でこの映画を公開しながら宇都宮をPRして行こうというところでもあります。私達としてもまだ活動の途中でございますので、皆様のお力を今後ともいただきたいと思います。駆け足になりましたが以上でございます。ご拝聴ありがとうございました。

### 今日の食事



- ・牛丼
- ・味噌汁
- ・温泉卵
- ・漬物

会報委員 後藤裕通委員長

写 真渡邊肇委員